

令和6年度第2回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日 時： 令和6年12月6日（金） 13:30～15:00

会 場： 秋田県立近代美術館 研修室（6F）

出席者	会 長	打 川	敦	横手市観光推進機構理事長
	副会長	木 村	智 子	横手市教育委員会生涯学習課長
	委 員	阿 部	順 一	日本放送協会秋田放送局長
	〃	岩 野	玲 子	横手市立横手南小学校長
	〃	大須賀	勉	大須賀絵画教室代表
	〃	黒 木	健	東北芸術工科大学非常勤講師
	〃	齊 藤	千 秋	株式会社秋田ふるさと村営業部副部長
	〃	佐々木	美 香	秋田市地域おこし協力隊
	〃	三 戸	忠 洋	株式会社秋田魁新報社文化部長
	〃	鈴 木	竜 典	R-room 鈴木竜典写真室代表
事務局	森 川	勝 栄	秋田県教育庁生涯学習課・学芸振興チーム主任学芸主事	
〃	仲 町	啓 子	秋田県立近代美術館 特任館長	
〃	田 中	博 光	〃 館 長	
〃	高 久	豊	〃 総務チーム副主幹(兼)チームリーダー	
〃	須 田	愛 美	〃 主 事	
〃	木 村	雅 洋	〃 学芸チーム学芸主事(兼)チームリーダー	
〃	秋 田	達 也	〃 副主幹(兼)学芸主事	
〃	保 泉	充	〃 主査(兼)学芸主事	
〃	北 島	珠 水	〃 学芸主事	
〃	奈 良	香 京	〃 〃	
〃	鈴 木		〃 主査(兼)学芸主事	

<次第>

1. 開会
2. 特任館長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 協議
 - (1) 令和6年度事業概況及び令和7年度事業概要について
 - (2) 特別展・企画展・コレクション展アンケート集計結果について
 - (3) 令和6年度あきたMuseum機能活性化事業「Museum特別展充実事業」の外部評価について
5. その他
6. 閉会

〈協議概要〉

（発言者：●委員 →事務局）

- 2年前に東京から秋田に移住してきたのだが、常設の展示が無料で観られるということに驚いている。アンケートの記述にも、無料でこれだけ観られるという意見が複数あるが、入場料をとらない理由を知りたい。

→博物館法では公立美術館は原則的に無料である。特別展など事業に準備や借用などにお金がかかるものに関しては料金を徴収しているが、収集している作品を観ていただくコレクション展は、基本的に無料となっている。他県の美術館では常設展だけでなく特別展も無料のところもある。自治体によって基準が様々で、秋田県ではこのような形で運用している。

- 4月から半年以上、委員として企画展や特別展を意識的に観させていただいている。今回のアンケートの記述にもあるが、駐車場から美術館まで道路を挟んでおり、距離が少し遠いことが気になっている。物理的に解決するのは難しい問題なので、何か手当があれば良いと思う。

→駐車場から美術館へのアクセスは我々も問題だと認識している。車椅子利用者や歩くのが困難な方にバリアフリー駐車場を勧めたり、今年は例年よりも冬期間にかなりお客様が入ることを想定して、駐車場の除雪範囲を広げたりするなど、改善できるところは準備を進めている。現時点では具体的な案は出ていないが、お客様への手当という面を参考に、これから検討していきたい。

●集客について、新聞やテレビなどのメディア広告の他に、どのように工夫しているか教えて欲しい。

→やはり新聞やテレビなどの影響力は大きい。その他では、フリーペーパーや情報誌から情報を得る方が多くいらっしゃる。イベントの際にはあらかじめ報道機関に案内を出して取材に来ていただく。「みんなのキンビプロジェクト」の取り組みでは、地域の方や地元の方々、事情があつて美術館に来る機会があまりなかった方にも展示にご参画いただくことで、美術館に興味を持つきっかけになり、それが集客につながっていく面もある。

●一般的に美術館という施設は、建物が立派なこともあり、とても高尚な、庶民の生活からかけ離れた難しいイメージを持つ方が多いのではないかと。スタジオジブリは、幅広い年代の方が何年も日常的に触れてきたものなので、今まで美術館に縁がなかった方も足を運ぶきっかけになったと思う。アンケートを見ると、子ども向けやサブカルチャー系などのジャンルを今後見てみたいという意見が多く寄せられている。地元が主体となって盛り上げ、集いの場所になっていけば、美術館のイメージが変わるのではないかと。

→敷居を下げるということは我々にとって非常に重要な課題だと認識している。「みんなのキンビプロジェクト」も、そのような取り組みなので、知恵を出し合つて、誰もが訪れやすい美術館になるように取り組んでいきたい。

●出前美術館「ARTが学校にやってきた」について、今年度は開催していないそうだがどのような経緯なのか。

→出前美術館については、開催する学校側で経費の負担をすることになっている。ここ数年、自治体の予算的な理由で、なかなか開催できていない。来年度以降、メタバースを活用するなど方法を変え、出前美術館の開催を再開できるよう検討している。

●資料には岩合光昭写真展「こねこ」について、来場者1万3千人超えということで、地域経済の活性化に貢献できたのではないかと良かった点として挙げられている。例えば、地域の商店や商工会などに、実際に展示による影響や効果があるか聞いたり、ともに企画したり、そういった地域との連携はあるのか。

→2011年10月に、横手商工会議所による「応援団宣言」があり、現在もポスター掲示等、広報にご協力いただいている。学生と作り上げていく展示を考えているので、いずれ、地元商店街の方面も展示内容に結びつけられたらと思う。商店街から少し離れた場所に建っているということもあり、我々もお知恵を頂戴しながら練っていく必要があると思っている。近い将来、地域を巻き込み、地元に戻元できるような展示が実施できるように考えていきたい。

●金曜ロードショーとジブリ展の入場者数はふるさと村全体の入場者数をかなり押し上げてくれた。30周年記念、30年を振り返るというテーマのとおり、3世代のお客様が多く見受けられた。通常11月までの入場者は大体4万人くらいだが、今年は10万人を超えている。美術館がふるさと村の複合施設としての効果を最大限に発揮しており、お土産売り場や飲食店などの有料施設も日々潤っている。この敷地内だけでいうと、大きな経済効果が生まれているといえる。金曜ロードショーとジブリ展について、個人的には期待以上の集客だと思うが、現段階の入場者の状況は想定内なのか。

→他会場ではおよそ20万人規模という話だった。今のところ2ヶ月で10万人を達成しているため、想定通り結果を出せていると思う。展覧会が始まってからも、休日と平日で入場者数の差が大きく、読めないところがあるが、これから冬休み、お正月、そして終盤に入ると、入場者数はピークになると予想される。

●岩合光昭写真展「こねこ」や金曜ロードショーとジブリ展は、専門的な知識を持っていない方も、関心を持って美術館に足を運んでいる。一方で、入場者が記録的に多い展示をきっかけに、どのように次の来場に繋げていくかが大事だと思う。その流れがうまくできれば、「今日、とりあえず美術館に行けば何かやっているかな」というような気軽な場所になっていくと思う。

- 岩合光昭写真展「こねこ」のサイン会などのように、関連イベントを実施することがとても大事だと思う。金曜ロードショーとジブリ展の10万人達成のように適切なタイミングで関連イベントを行うと、改めてフレッシュな情報として報道しやすい。また、先日、他館のイベントで秋田蘭画の講演会が行われた際には満員だった。例えば、関連イベントを秋田市で行うのも良い方法なのではないか。人口の多い地域で関連イベントを行い、美術館に動員するというアプローチも効果的だと思う。
- 新版画展を拝見して、非常に見応えがある良い展示だと思った。入場者に伸び悩んだとのことだが、興味を持って情報にアクセスしてもらうためには、やはり従来の見せ方だと、なかなか現代の人にはアプローチしてもらえない感覚がある。キャッチーな見出しから情報にアクセスする人が増えており、善し悪しはあるが、我々も新聞や報道の見出しとSNSで情報発信するときの見出しを変えるなど工夫している。
- ミュージアムコンサートを拝聴したが、参加者が100人に至らず少ない印象を持った。秋田市では、空港、博物館、図書館でコンサートに携わることがあり、その際にはどちらも過去2倍の集客だった。その際、演奏者のリサイタルにならないよう、全員で作り上げるようなコンサートになるように強く心がけた。来年度のミュージアムコンサートは夏休みの時期であり、絵本作家さんの展示期間のため、子ども達が喜ぶような絵本とかけたような楽曲を選ぶなど、コンサートを学芸員と演奏者と一緒に作り上げることで全体的な集客も増えると思う。
- 先日、ミュージアムショップに寄ったところ、「推し展」というテーマで県内の喫茶店などの商品も販売していて、それがかなりびびってきた。展示を鑑賞して得られる出会いもあるが、このようなふとした出会いも大事だと思う。ミュージアムショップには、今後も、展示に関連する商品に加え、秋田ゆかりのものの販売も続けていって欲しい。
- 他の委員からも「親近感」「気楽な場所」「推し」などの言葉があったが、私はとても共感した。現在、大学で美術史やデザインを学生に教える上で、美術を一般化していく、ハードルを下げるにはどのようにしたら良いのかを考えている。博物館や美術館以外にも、動物園や植物園、水族館なども「収集して研究して見せて保管する」という点でミュージアムのくくりと考えるとする。そうすると美術館はやはり高尚な位置にある。水族館や動物園に行くように美術館を楽しむことができれば良いと思う。
- 入館者300万人達成ということで、大変おめでたく思う。金曜ロードショーとジブリ展は大変評判が良いと聞いていたが、私自身、展示内容に度肝を抜かれ、時間が経つのを忘れて楽しめた。平日にも拘らず、物凄い人数が入場しており、人気の高さを感じた。
- 観光協会でもいつも集客に苦労しているが、やはり若い方々にはSNS、ご年配の方々には新聞やテレビの報道が大きな力を発揮していると感じている。金曜ロードショーとジブリ展期間に、風の回廊で菊まつりを開催させていただいた。振り返ると、風の回廊は菊まつりくらいにしか使われていない。彫刻もあるため、例えば写生大会など他にもそういったイベントがあると足が運びやすいと思う。また、開業当初は7階にレストランがあった。見晴らしの良い場所で、コーヒーなどが飲める場所があれば良いと思う。